

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

地域協力活動展開中。隊員の行動力に感心

▼第8回おしどり学園



▲ 分かりやすく活動状況を紹介

12月16日、第8回おしどり学園を開きました。今回は、「地域おこし協力隊とは」と題して、日野町地域おこし協力隊3人（北田千春さん、高下莉奈さん、中山法貴さん）が講演を行いました。地域おこし協力隊とは、2009年に国が創設した制度。都市部に住む若者などに過疎地域などへ移住してもらい、そこで農業支援や6次産業化の推進のほか、地域イベントの企画運営や特産品開発などの「地域協力活動」を行いながら、地域の活性化を図る取り組みです。まずはじめに、北田さんが協力隊になっ

たきつけや活動状況を紹介しました。「友人が島根県で地域おこし協力隊員として活動していて興味を持ちました。また、バイクが趣味で、山の中を走るのが好きでした。私もそんなところに住んでみたいと思うようになり、そこで出会ったのが日野町でした」と北田さん。活動拠点の菅福地区で行っている、独居高齢者の生活支援や原木シイタケ栽培、草刈り、もちづくりなどの活動を紹介しました。北田さんは「活動の様子をインターネットを使い情報発信しながら、これからも日野町の魅力を伝えていきたい。協力隊の任期は最長3年だが、終了後も日野町に住みたいと考えています」と話しました。次に、登場したのは高下さん。協力隊のことをインターネットで知り、元々大学時代から興味のあった農業の6次産業化について学ぶため、今は、ねうあぐり倶楽部（根雨）で活動しています。中海の海藻肥料を使った「海藻米」の販売や米作りのほか、イベントへの出店や商品開発を通し、特産品のブランド化を図り、地域の活性化につなげたいと抱負を語りました。最後に、中山さんが地域コミュニケーション活性化活動として、「ふれあい囲碁」を紹介しました。囲碁は難しいと思いますが、ふれあい囲碁は簡単なルールで3歳から大人まで楽しめるものです。学園生もすぐにルールを覚え、碁盤にらめっこ。熱戦が繰り広げられました。

日ごろの努力が実を結ぶ。今後の活躍に期待

▶野坂正昭さんがシニア作品展写真部門で奨励賞

平成28年度シニア作品展（鳥取県主催）の写真の部で、野坂正昭さん（野田、86歳）の作品「奥大山」が奨励賞（2位）を受賞されました。

受賞作品は、今後、全国大会へと進み、秋田県で開催される「第30回（平成29年度）全国健康福祉祭（ねんりんピック）あきた大会 美術展」に出品されます。

野坂さんは、おしどり学園の写真グループに在籍。講師の写友会ひの・松本利秋さんの指導の下、日々研さんを積んできました。野坂さんの作品は、公民館まつりや西部地区町村公民館巡回展などにも出品されており、写真テクニックを駆使し精力的に活動されています。生涯学習を極め、模範となる学園生の一人です。おめでとうございます。



▲「奥大山」撮影：野坂正昭さん

“まちの元気、をみんなに届けよう！”

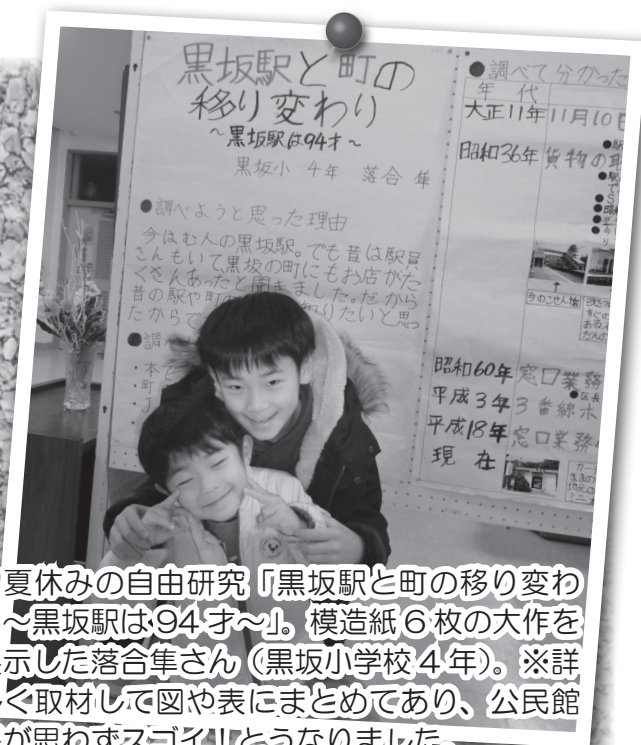
～作品や活動発表の場に町公民館ロビーを活用ください～

町公民館ロビーの展示コーナーを使って、写真・絵画・書道などの作品を展示してみませんか？

グループでも個人でも構いません。皆さんの日ごろの活動の成果を発表してみましょう。展示を希望する人は、町公民館までご連絡ください。



▲地域おこし協力隊の皆さんによる展示。日ごろの活動内容を写真で分かりやすく紹介しています。
※広報ひのに現在、「協力隊通信」を連載中。



▲夏休みの自由研究「黒坂駅と町の移り変わり～黒坂駅は94才～」模造紙6枚の大作を展示した落合集さん（黒坂小学校4年）。※詳しく取材して図や表にまとめてあり、公民館長が思わずスゴイ！となりました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第42回

「みやすい」
「今日のテストはみやすかった」と聞いて「カンニングしたの？」と思ったあなた。安心してください。日野弁で「みやすい」とは、「簡単な、容易な」という意味です。
語源はやはり「見やすい」かなと思ってしまうますが、「みやすい」と「見やすい」では、「箸」と「橋」同様、アクセントが違うので、他にあるのかもしれない。
かなで表すと全く同じなのに意味が異なる言葉。日本語の研究は決してみやすくないのです。

日野弁ピックアップ「み」

みい…～みる／見る／試す。「やってみいわ」。
みいどこ…親同士が二従兄弟（はとこ）の子どもの関係。
みかわり…一周忌（法要）。
みじまい…化粧。衣装を整えること。
みずすまし…アメンボ。 みずわあさ…水遊び。
みったあもない…見苦しい／外聞が悪い。
みやこ…レンゲソウ。 みよおご…ミョウガ。
みよおこく…ひどい目に遭う。「よおにみよおこいた」

協力：日野町歴史民俗資料館友の会



▲講師が手際よくしめ縄づくりを指導

思い思いに心を込めて
しめ縄づくり教室を開きました

12月18日、町公民館の恒例行事となつてゐる、しめ縄づくり教室を開きました。
伊達隆光さん（中菅）、和田佳洋さん（小河内）を講師に、16人が参加し、わらの扱い方や縄の結び方について教わりました。
講師の手際よい作業を手本にしなが、さまざまな形、大きさのしめ縄が完成しました。参加者はしめ縄を作りながら、一年を振り返ったり、新年の抱負を話したりしながら、新年を迎える準備を整えることができました。